

第5回江南市行政事業検討委員会議事録

日 時 平成28年9月26日(月)午後3時30分～午後4時45分
場 所 市役所 2階 大会議室(南)
出席者 横山幸司、武長脩行、加藤浩明、村瀬真奈美、堀部直美、長谷川清
傍聴者数 1名
資 料 資料1-1 平成28年度江南市行政事業レビュー アンケート結果(傍聴者)
資料1-2 平成28年度江南市行政事業レビュー アンケート結果
(判定員・市民評価員)
資料2 江南市行政事業レビューの結果に関する意見書(案)

・開会にあたり、委員長よりあいさつ。

1 議題

(1) 行政事業レビューのアンケート結果について

- ・資料1-1、1-2に基づき、行政事業レビューのアンケート結果について、事務局より説明があった。
- ・質疑応答は以下のとおり。

委 員 長 今回の行政事業レビューは初めての取り組みであったが、円滑な運営が出来たと思う。限られた時間、人数により判定することが求められる中で、改善すべきところは今後改善する必要がある。市民の指摘に対し、職員が繕うことなく、「それについては今後こうしていきたい」と議論をすることが出来れば評価は上がると思われる。職員の方にはそうしたプレゼンの仕方を意識してもらいたい。

委 員 1事業につき1時間という時間は長いと思っていたが、すごく短く感じた。行政事業レビューを通じて江南市が取り組んでいる事業や課題がよく分かったので毎年続けてほしい。市の判断だけで辞めることが難しい事業は、市民の声を聴くことも一つの方法だと思う。

委 員 傍聴者のアンケートを見ると、対象事業にはもっと自分の生活に関係が深い事業や意見を言いやすい事業を選定した方がよいと思う。

また、今回の対象事業は「事業に対して意見を言いやすいもの」を基準に選んだつもりだったが、意見が出にくい事業もあった。

委 員 長 事業選定については、行政と市民の要望をバランスよく考える必要がある。

委 員 行政と市民が事業の課題や問題を話し合う場であれば、あまり難しくする必要はないと思った。

委 員 長 市民と行政が意見を交わす機会を持てたことは、大きな一歩だと思う。

委 員 判定員と市民評価員の発言のバランスが良く、内容的にも良かったと思う。しかし、職員は公開の会議に慣れておらず、守りに入ってしまう。市民の方に分かりやすい

説明をするためには、職員がこのような会議に慣れる必要があるので、継続して実施することが良いと思う。

委員 選ばれた事業の中には内容が分かりにくい事業もあったので、担当課も説明することが苦しかったと思うが、しっかり説明しないと評価が低くなってしまう。行政事業レビューの目的には職員の意識改革もあるので、大きなテーマに関しては2年後くらいにもう一度対象にしても良いと思う。

(2) 行政事業レビューの結果に関する意見書(案)について

- ・資料2に基づき、行政事業レビューの結果に関する意見書(案)について事務局より説明があった。
- ・質疑応答は以下のとおり。

委員 行政事業レビューの結果は来年度の予算に反映していくのか。

事務局 意見書とアンケートの結果を市幹部会に報告し、今後の方向性について各課で検討するよう照会をかける予定。各課からの検討結果はホームページに掲載したいと考えている。

委員 今年度中にまとめる予定か。

事務局 10月中旬までに各課から回答を出してもらい、今後の方向性について今年度中にまとめる予定。委員の皆さんには、報告していきたいと考えている。

(3) おわりに

・事務局から、来年度に向けた行政事業検討委員会の運営、行政事業レビューの実施方法について委員に意見を求めた。

- ・質疑応答は以下のとおり。

委員長 この事業は1回で終わるのは勿体無い。行政事業レビューでの対象事業は限られているが、行政評価の一つであり、継続することが重要である。

委員 判定結果や今後の方向性について、その後の状況を検証する機関がないため、全員は難しくても委員長だけでも委員会に残り、検証する必要があるのではないか。

委員 市では、今回のレビューの結果に対しどう思っているのか。

事務局 事業によっては厳しい判定をいただいたものもあるが、こうした意見を大切に少しでも改善していきたい。

委員 議会に報告はするのか。

事務局 大きく方針を変更する際には議会に報告を行う。

委員 今回取り上げた事業について、担当者が代わっていくので、事務の引き継ぎをしっかりとしてほしい。